

《 令和5年度 PDCA サイクル実施計画・管理表 》

令和6年3月末現在

部署名	P 実施計画				実施管理				
	課題名	現状の問題点	改善のあり方	改善時期(予定)	D 実行	C 評価		A 改善	
						区分	実施内容	区分	次年度の改善内容
診療情報管理室	県内の「院内がん登録情報」を収集・分析する体制整備(院外:都道府県がん拠点病院の役割)	1. 指定要件として、県内48施設別2021年と2022年症例のがん登録数と治療の情報収集を行い、部会で承認を得た協議会ホームページ広報の更新が未である 2. 「標準登録様式」の改訂や5大がん以外の病期分類(中級者レベル)登録に困っている実務者が多い 3. 実務者が相談できる場が少ない	【院外業務】 1. 2021年および2022年症例の県内がん登録部会の登録数と3大がん(大腸・肺・胃or乳)治療法の収集と協議会のホームページに広報を行う(内容は、各病院の実務者と検討する) 2. 年に2回院内がん登録実務者ミーティングを開催し研修や統計活用などを通し実務技能の習得と登録精度向上を目的に持ち回り当番病院と連携して会の企画・運営を行う (1)第1回 R5年11月14日(講義形式ZOOM予定) 当番:市立伊丹病院 テーマ:口腔・口唇・咽頭の解剖とUICC TNM病期分類と演習含む3時間 予定 講師:国立がん研究センター 江森氏 (2)第2回 R5年2月 予定(情報活用ZOOM予定) 当番:県立淡路医療センター テーマ:2021年および2022年症例公表統計作成等 3. 実務者有志のメーリングリストを活用し、県内実務者の相談支援を行う	令和6年3月	△	概ね達成	1. 「兵庫県がん登録情報」として48病院より2021年症例の部位別がん登録数と大腸・肺・胃がんの治療数に加え、今年度から乳、前立腺がんの治療法を追加収集した上で統計を作成した・第2回実務者ミーティングで検討し、協議会承認を得て協議会ホームページに広報した。2022年集計は、国の公表に合わせるため来年度収集予定 2. 実務者ミーティング2回と事務局会議の企画・運営を当番病院とZoomで開催した ・第1回 11月14日開催 92病院 198名参加 テーマ:口腔・口唇と咽頭の解剖など予定通り 講師:国立がん研究センター 江森氏 ・第2回 2月3日開催 38病院 70名参加 テーマ:①2021年登録数と治療法案検討 ②「院内がん登録調査研究利用のアウトにおける各病院の現状と対策」グループワーク ・事務局会議Zoom開催 2月3日 22施設23名参加 3. 県内実務者相談支援 21件実施した	継続	1. 部会で承認された2022年症例の兵庫県院内がん登録の収集と広報を行う 2. 県内持ち回りの当番病院と協力し年2回(11月、2月)院内がん登録実務者ミーティングを企画運営し実務者の知識向上、情報共有等を図る 3. 実務者相談対応で不明な点は、国立がん研究センターへの問い合わせや最新の情報共有・SNS質問回答把握等しながら支援していく
	がん登録実務の精度向上(院内)	1. がん登録実務者の認定および4年毎の更新試験が実施され、国や患者が求めるがん登録実務者の技能向上が求められている 2. 指定要件「院内がん登録データを活用し、登録数や各治療法をホームページにて広報すること」が示されており集計・分析技能の向上が求められている 3. オンライン届出は、セキュリティ対応や品質管理チェックが登録改訂等に伴い作業が難しくなっている 4. 全国がん登録情報(死亡)還元に必要な部署のセキュリティ対策が整備できていない	【院内業務】 1. 登録の精度を上げるために国がん主催の研修に参加し、中級認定1名の合格を目指す 2. 国がんの公表時期に合わせ自施設ホームページの2022年症例のデータ更新を目指す 3. GTS機能を使用した院内がん登録・全国がん登録の届出を期限内に行う(7月3日～8月4日)(エラーなどが生じた場合は、国がんや登録システムや当院システムに問い合わせ協力依頼する)対応できることがあれば他病院の相談窓口となる 4. 運用管理規程に沿ってセキュリティ対策を行い2016年症例5年予後還元が受けられる	令和6年3月	△	達成	1. 初級認定者研修1名、中級者研修1名、中級認定者研修3名、小児がん実務者研修1名、データ分析研修応用編1名が国立がん研究センター主催の研修に参加し日々の登録に反映している。また、中級認定試験に1名が受験合格した 2. 広報として自施設のホームページに2022年症例のデータを更新した 3. GTS機能を使用する届出方法にて10年生存率(2011年集計データや2022年診断症例の院内がん登録・全国がん登録の同時届出が可能となり、期限内に届出が行えた 4. 運用管理規程・セキュリティ対策に沿って入室記録などセキュリティ強化を継続し今年度は、全国がん登録死亡情報還元対象の2016年症例5年生死還元が延期となっているため申請を来年度に行うこととした	継続	1. 次年度も登録の精度を上げるために国がん主催の研修に参加し中級認定更新試験の合格1名を目指す 2. ホームページの最新データ更新を行う 3. 国立がん研究センターの指示する届出方法を理解し安全に期限内届出を行う(7月8日～8月9日) 4. 運用管理規程に従いセキュリティ対策を行い、生存率調査の時期に合わせ2016年症例3年予後還元が受けられるように準備しておく。また、入室記録などセキュリティ強化を継続する

(注)実施管理・区分欄の記入について

C 評価における区分は、「達成」「概ね達成」「未達成」から、A改善における区分は、「完了」「継続」「その他」から、それぞれ1つ選んで記入する。

D 実行欄には、達成度等を考慮して、○、△、× を記入する。